

社会技術革新学会奨励賞(2012年)受賞者の決定について

当学会では、技術革新や社会変革そして制度改革と人材革新に資する活動を奨励するとともに、それらに係る教育の発展に資する活動を奨励することを目的として社会技術革新学会奨励賞の制度を設けています。2012年の奨励賞は次の方々に決まりました。

対象者氏名	業 績
愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部 (篠原佑輝 仙波朱梨 渡部由真 河野みなみ)	別子銅山の活動の中で生まれた産業技術や経営思想などが多様な事業に展開していく過程や商工都市新居浜に発展していく過程を検証して技術の歴史と社会の歴史そして人々の歴史が深くかかわる事例を社会に示し、社会技術革新学に新たな領域を開いている。
河野義知	別子銅山の活動が多様な事業に展開していく過程や商工都市新居浜に発展していく過程を検証する高校生の課外活動を指導しつつ、技術の歴史と社会の歴史そして人々の歴史が深くかかわる事例を学ぶ機会を社会に示し、社会技術革新学の教育に新たな領域を開いている。
溝口忠一	社会的な教育活動である知の市場の草創期から現場基点を念頭に科目の組織化に先導的な役割を果たし、技術革新と社会変革に関する教育のあり方に示唆を与えている。
今井健太	2011年9月の第5回学術総会において口頭発表した後、学会誌「技術革新と社会変革」の第5巻1号に報告「液体の微粒化技術と社会ニーズ」を投稿して、液体の粒子化の原理や微粒化技術を利用した実例を示し、均一な粒子径がもたらす効果とその事業展開などの新しい事例を社会に紹介している。
吉原有里	2011年9月の第5回学術総会において口頭発表した後、学会誌「技術革新と社会変革」の第5巻1号に、報文「石油販売業の公共性と社会インフラの側面に関する考察」を投稿して、東日本大震災における石油供給の復旧状況を検証しながら石油販売業の公共性を論じる新たな視点を示し、社会技術革新学に新たな領域を開く事例を社会に紹介している。

奨励賞伝達式は、9月28日(金)に日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)で開催される社会技術革新学会第6回学術総会にて行われ、受賞者による記念講演も予定しています。

問合せ先：社会技術革新学会事務局

TEL: 03-5978-5096 E-mail: jim2@s-innovation.org